





TESTALBERGH







Stell がけもどきのいえー作家のための集合住宅

### 卒業設計のタイトルと概要

寄生建築 : 敷地の麻布台ー丁目(=旧我善坊町)はかつては江戸の組屋敷であった。また戦前・戦後と中小住宅地であり、古い木造家屋や路地といった美しい街並みが今なお残されているが、それらの空間が現代に適応できているとは言いがたい。また南北のがけは単なる上下の空間の分断する要素でしかなく、住宅はがけに背を向けており、自然と共存しえていない。他方こうした地域では空家や単身高齢者など、都心に関わらず住み手の不在と言った問題がある。そこで「寄生」というコンセプトを軸に今ある街並みを保存し、空間を活かしつつ問題を解決し、再活用する方法を考察することを目的としている。

お都するファサード

### 研究旅行のテーマと訪問予定の国(都市)

スペイン,バルセロナ新市街における現代建築ファサードの研究 : バルセロナの新市街、エイシャンプレ地区は19世紀半ばにイルデフォンソ・セルダによって行われた都市計画—通称「セルダ・プラン」であり、どこまでも均質な八角形の街区を特徴としている。高さや色彩に関する建築に関する規制を始め、道路沿いには洗濯物を干しては行けないなど生活に関する規制も存在する。本調査ではそれら現代建築のファサードを収集・分析することで、街並みの保存に対して現代の建築をいかにつくるかということを考察する一助とすることを目的としている。

### 使用済み核燃料の排熱を利用した温室による地域計画



#### 福島第一原発の事故から考える「これから」

記事に新しい、福祉第一部子力発電所で起こった事故。これを きっかけに、原発とのこれからの付き合い方を考え直さなけれ はならないと病核した。

対象数地は急地原子力発電所、日本の原果で唯一部庁所存地に あることから、早息に対策を練るべき福州だと考えた。

### 地域が抱える課題

対象動地は、単核原子力裁矩所、その形式で、原理に対するアンケート を行った。前背操止のためには、原発から自立した地域社会の確立が 必要である。使用高み燃料の信息を利用して運営する温室と、観光地 としての疾病となる情、痴涙を得をつくることで、原発に前らない一連 の被談計画を考えた



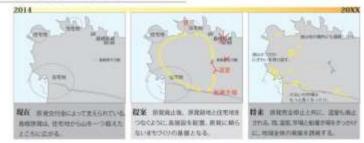




#### 温室を中心とした地域活性化

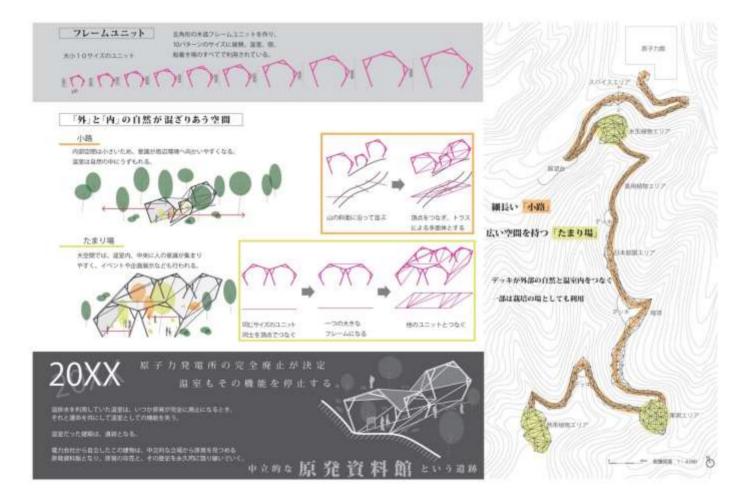
受用国み総営料の服務を利用した温室を中心に、直接原発原ご地域を一体として、アグリカルチャー体験を含めた休暇村 として計画する。温度に訪れた人を、この地域特有の自然の書かさと、変化に関えた販金みとの出会いへと導く。

#### 原発依存から地域経済へ









### ルネサンス期ヴィラの一角に建つ、リモナイアから温室と自然の関係を探る

### 変化を愉しむ日本的自然

日本では、必要以上に非然を制御 しようとはかず、変化をも用がある として楽しむところがある。その ものの歯形的な薬のみにとらわれず を取り悪く物能が経過していることなどを始折して体帯する

ことを一つの目的としている。



ヨーロッパ自然は、当時の共進問題とされていた 宮辺の科学的基盤である境刊学的概念から美を記求 してつくられた。絵画のように構々まで管理され、 手の加えられた自然は一見とても人工的だが、その 基盤となる毎何学は、否然の核子を解析し、背景に 組成から各共を表現している。

幾何学的に管理されたヨーロッパ的自然



弱れている頭和を数学的モデルとして確立したものであり、日本とは違う

#### 日本に輸入されたうわべだけの自然

近年の歴史化はですい、日本においても制御、御除された自然が寄中で見られるようになった。しかし、自然を育成の面、効率制における技術的制造 の人工的自然のみが解入され、薬的事業が効けているため、日本に見られるヨーロッパ的自然の多くは政業機能の基施でしかない環状である。

イタリア・ルネサンス期 イタリア、ルネサンス際に選生した多くのフィラには、リモナイアというレモンのための選挙がある。レンが構み 

### 外の庭と内の縁

李葉研究でメイン特別として提供した選集、各部の自然と選集内の人工的な自然とも、カラス - 検腸でて共存させるという信条のもとに、温室内体が誰にりあうよう計画した。 このりモナ イアも、水と外の無方に着かり自然が広がる。ヴェラの研集という支援なプロポーションの中で 温度という一つの確立した世界がどのような関係を持つらか、規模を認めたい





### ヴィラ・ガンベライア

#### Villa Camberaia

17世紀に家主が撃わり、ヴィラと辞語 の作者が行われ、18世紀ころに勤地は 100hs. 15ヶ所の蔵家を附有する原稿 になった。ウィラが開在の姿になった のは、このころである。ヴィタはフィ レンツェの街を見下るせる場所に位置し レモン国家の終にはレモンのほが広がる

### リモナイア レモン番をのための音楽 **リモナイアはレモンのため**こまうシ

ナリーはオレンジのための計画。 担端協工事業からヨーロッパへ終ち 込まれたが、裏さに弱く、冬を終す ための課物として教地の一角に建て イタリアのヴィうではリモナイアと 呼ばれることが多い



### ボーボリ庭園

#### Giardino Boboli

16世紀にメディナ家のものとなった その後、1775年にレモン個ができた ことがわかっているため、おそらく このリモナイアもそのころにできたと 有えられる。





ヴィラ・ディ・カステッロ

#### Villa di Castello

1427年にすてに存在し、ワックの中でも最も古い もののひとつ、10世紀のころに音楽の一部は改造 され、このヴィラ当初の京原は建立当初とは変化







### 卒業設計のタイトルと概要

使用済み核燃料の排熱を利用した温室による地域計画

島根原子力発電所を対象とした、原発廃炉後の地域への貢献としての、使用済み核燃料の排熱を利用した温室と、そ の周辺施設の設計。温室は、細いチューブ状の部分と、3か所の大空間によって構成される。温室内の自然を通して屋 外の日本の自然を眺めることができる空間であり、それによって日本の自然を見直すきっかけをつくる。そして、いつか 原発が完全に停止するときには、それと共に温室もその機能を停止し、原発資料館として、原発の沿革を後世に伝える 施設となる。

### 研究旅行のテーマと訪問予定の国(都市)

ルネサンス期ヴィラの一角に建つ、リモナイアから温室と自然の関係を探る

イタリア(フィレンツェ)

京屋建築の身を見たいかすなければならない。

そのような細胞を設計する知味を得るため、名物理なよりも概念を使くした広義の「名物区戸古歌」 y対象として、特殊部の特性を得らかにすることを目的とした研究を行った。

選付初外に関しては、提供前の前舗部を行事とした初をはあるが、確認を分替する分析は、管見のと

8個本控制線、近世、横回の3段数で分析する。近世の分類からは控制線で分類したうち、終7回に 電影する。 ゲリッド とで植物等の中で構成製造がどのように置かれているかを知るために、範囲の構 **改要素に相目して哺用を分類した私味、広東の学供給は、料物料、植用料用、直視形、透明投影に分 好することができた。非技能の指揮性の傾倒の特性は、傾回なおに若甘し、適用を分割することによ** (で別の乗なりにより集行をつくり、立体的に表現することで、単行をつくる。



り計コンセプト

高層建築は、 経済性や高力に目を向け、 魅力であるはずの複数単は地理的交ものにとどまっている。 基上廃匿だけではない情報交替をデザインするため、程用の情報素を美L(強いた浮世報を題材に 研究し、浮分輪における情報景の特性を導いた。それを基に、浮分輪を空間化する実験を行い、 デルした現代な序曲的を一つの検索美の可能性として要素する。



美しい俯瞰景を望む高層建築



PYVX 様うように無性した思い 様利から変形にすることで検索の模型に近づける。





理解にポリュームを加える。 報をずりして実験に変化をつける。 それぞれの理想の大にあたまからもことで 方を受けよめ、確然的においって方を影響させる。











研究テーマ:サントリーニ島や万里の長城はなぜ美しいのか〜錦巻景からの徹底調査〜 **訪問先: ギリシャのサントリーニ島。中国の万里の長城** 

#### (1) 研究のテーマ

性質の中で、保護機をデザインしているものとして、テントリーニ集の影響などで果の各種が挙げられる。これらはなぜ入って楽しいと属じさせるのが、卒業研究では、「亡業の移世論の祖是側に見られる保護側 の構図の特性」をテーマにした。この研究は、絵画を発明法で分類し、そのうち広重の浮世絵から始まったアイソメ幣で協かれた絵画に設定する。絵画の構成要素に変目して構図を分類し、アイソメ型で描かれる絵 職員の構造に見られる特性を明らかにした。この広重の呼供給の特職員の研究から編み出した投影法の分類を用いた場合、外国の策略量ではどうなるのか、また日本ならではの特職系のあり方についても研究するこ とが出来らのではないかと考えた。

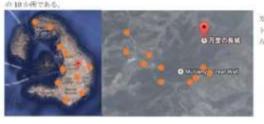
サントリーニ島は、エーゲ連のキタラザス諸島南部に位置するギリシャ領の火山島である。かつて大爆発を起こした火山が形成したカルザラ地形で、木島を含めたもつの島々の総称としても用いられている。カル デリ湾を望む物館の上に日曜の家々が密集する景観でも知られており、エーゲ海の著るな観光地の一つである。一方で、サントリーニ・カルデラ内では現在も活発な火山活動がある。サントリーニ島が掲載されてい る写真の多いポイント職に10 か所ポイントを設定し、各ポイントから囲暖長の写真、またはスケッチを行い、我制造に落とし込めるかどうかを見極め、もし落とし込めるのならば、どのように分類できるのか研究

万型の長城は、中華人民共和国にある城壁の遺跡である。ユネスコの住葬遺産に登録されており、寄・住身七不思議にも帰ばれている。2012年6月 5 日の中華人民共和国国家文物局の発表により有端の遺宗者先 山から西端の世界省登場開きで経延長は 21.196.38km と発表された。現在する人工祭の延長は 6.256.6km である。現在、万里の長崎に発れる無点は、北京近辺が一番有名であるため、同常立長域から出発し、各世 点をサントリーニ集団様の方法で研究を行う



(2) 助関予定の外国の都市・街差み・建物の内容

サントリーニ島の建物は、新星連携に突さ出したテラス、白色の機物器からは終一緒がある。納難景を楽しむためには、スリル線、後ろの京間。どういう状態で眺めるのかが重要となってくる。ポイントは、以下



5室の長城では、人が立ち去れる機は、北京近近が多く、有名であるため、右回のオレンジで示した箇所を選定し、前難量のポイン トとする。険しい山の上に堪かれている司馬か長端。韓韓山長城。古老口長城。大御松長城、賈花城長城、賈即将長城、節即長城、 八海陽系は、太陽系は、国療院 - 国療院系統、経験陽系域の各種点の前動員を研究する。

### 卒業設計のタイトルと概要

### 「美しい俯瞰景を望む高層建築」

高層建築は、経済性や高さに目を向け、魅力であるはずの俯瞰景は地理的なものにとどまっている。屋上緑化・庭園だ けではない俯瞰空間をデザインするため、理想の俯瞰景を美しく描いた広重の浮世絵を題材に研究し、浮世絵における 俯瞰景の特性を導いた。

それを基に、浮世絵を空間化する実験を行い、デザインした現代版浮世絵を一つの俯瞰景の可能性として提案する。

### 研究旅行のテーマと訪問予定の国(都市)

「サントリーニ島や万里の長城はなぜ美しいのか~俯瞰景からの徹底調査~」

ギリシャのサントリーニ島と中華人民共和国の万里の長城(北京近辺)

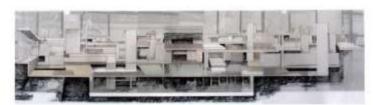


教徒、食業務的公司では集やかな観光学たちとかールトラが開発している。 この公司ともによって人とかったというました人というとのしたが「職」を持つ機能的自身を計画した。

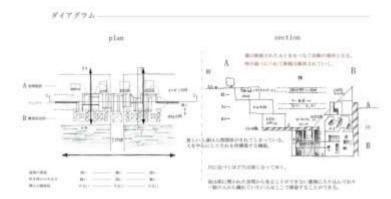
























研究対象:

- あるでは独立に立即で

立く学問に振うようになった。





貧しいけれど幸せな国、バングラディシュの小学校建築

第一元: NGO による小学校の実施・使われ方の調査研究 開催:1 開閉から2 再開報度

1. NGO の小学校 3 種類 ワンルーム型、返回型、屋外型(ダッカ) 2. 手づくりの小学校、メティ・ハンドメイドスタール(ルドラブール)

MTMX素素をPUIよる1994年の製文「パングラディンコのデデもの生活世界と学校」を参照している。

1000年に200回時に実施学的を報告した。最後200回にいりませたとしたが規模がに、1~1年を選択を扱う。 1900年に明点で900回的をしている。1900年までは大学者の9代が1年生のコースを展了し、19代が組織 2001年8日半年に譲入してまて展まっているのは4年に大学とも合わる中心である。これは最終21年年に比

発展が必要した。(1) 選択な込む金融機の個人の中で、単数の間でしている機能型、の中値でも、ラスカネと もなったのが過ご器官を載えているところなった。 当該機能するものは認め着きのできる土地の人で、本面を 別にもっていた。 製造として回路機能をし、当日のベースで売が待ちな土はが起るシリを1 ケルーア1 港のベー スプ語も、 初回業別的途からで乗り出るととのデリア将軍がいたが、一番機能するうちに、主義別と連合の地方

土曜と日曜にストリート・チルドレンのために無いている学校である。この協会はスワコーデンのNGDやイギ マスの NGD からの機会施防で活動しており、ダッカ性内のごつのセンターを集合に4億円で楽上学校を禁いて 1-6、かってもは前のない。現在しているのであるという。 事業が終まられ、仕立ま・大工・前日 事務所ともの研究を集につけませている。 着を得りこともれらはオンターから会立に、戻ってくることははと んどない、過去が終エスタリアム、共和、デッカ家、デッカ連の発展、デッカかの発展。

私は持条、日本の明らい未来を借くような取得をしたいと思っています。初代日本は邪魔場に効率的でいます。最近の 根値はさとり使代と呼ばれており、実際知識が多くは縁め、単語であるように感じます。 バングラディシュは著しい国であるにもかかわらず、国際総等協議が保存でお望たと何り開きました。 炊事は1四位の そうです。そこでパングラディシュの人々の最らしも開放で見て、幸かのヒントを見つけたいと連っています。

パンクテア・シュアは物象の機能によっては遅しい研修を選択的すことができなかったため、教育によって疾病を攻撃 するため MGO かわればくに対した機能な小学収をつくり、素質の機能な多くの人に関手できるようにしたそうです。 中部の機能はいくつから MGO による小学術を設備し、理解の機能もあり、現象や生活の様子を記録します。

へいグラテンスの北京エルトラブールという内がある。人口地域が高く、東京銀行手に集まる。この、ある村 ドルフェールとからイメスの一切というですがある。 株式在土が加り、工業で力をつくい場合である。 (株工 みなからずる) という教育方針のたおり、見るからに乗しそうなデザインボ、名とりどりの水戸やルーフンボ にガラシをは入り口、無道しのいく。官内、弁動の施理から渡し込むだ。

の学校を高的した女性機能をアンナ・ヘリンカーは他力のコミュニティが何を望んているからよく可能していた。 学術機能に関わられ場合性的は「どうすれば娘」様かつくれられたがわかった」と語っているそうだ。 夏 1. の必要は一般がいたののには対すことができない。 に対して、第二人がよく、第三のが対すたとかってもないできなってくります。 はなってもの、また他の自身が学校のメンテナンスに関わり続けられるととが重要なってある。ユーロットか も実た他性難難事が、近代的な特殊を建った学校を期待した人もいたという。しかし、今では料本の人がメア の学校を誇りに思っている。そして、別様の工法で自宅を寄作したり建て替えたりする人が考えている。







SHEET STATE 内部第二アプデキロー25-開発 - ロモデア・25-ア 接続 - 14 万 4 年 box

パンプラディショルは自然的地位を開催した地方、1 単独は 1967年で、イギリスの他 最初の記からレンドリー教徒の中へ強インドとイスラム開始の中へ担いなイスタンセプラ に対象して現立した。 音等のイキスタンはインドを選んで作り表示性等的に載れた基

#### **ゼスラムにおける概念の意味**

CATAMORE I WISHINGS LINE SOCIETY, DORNEL WELLING

ペストの表現と「今かないればならない。ものであるが、また情報と「苦をしから、 人物のまれが、それがは大きない。 また、大のなまだのから、一般を持ちなくは を成っていました。 パングラディシュの裏がれた。 最もでも「本材はか かなくていまでなりまとなり、パングラディシュの裏がれた。 最もでも「本材はか かなくないましたの意味」、「味りんなまであから、他かが発展するが、それぞれが 最なった場合に、最もいた場合が動きをしているという様をあっているので、最も 別してのディディをできまするという意味があっていましていませた。 また またったいかというが大いないので、人かとことから関係となっている。 なり、これはこのはか自然をかって、人かとことから関係となっている。 なり、これはこのはか自然を対していない。 またがまいていました。 とればこのはか自然を対していない。

#### **新田和口子の学校に見ない物会**

COL BUILDINGSOURTYSORIES PROCESS TERRORISES BURGLOS BURGLOS

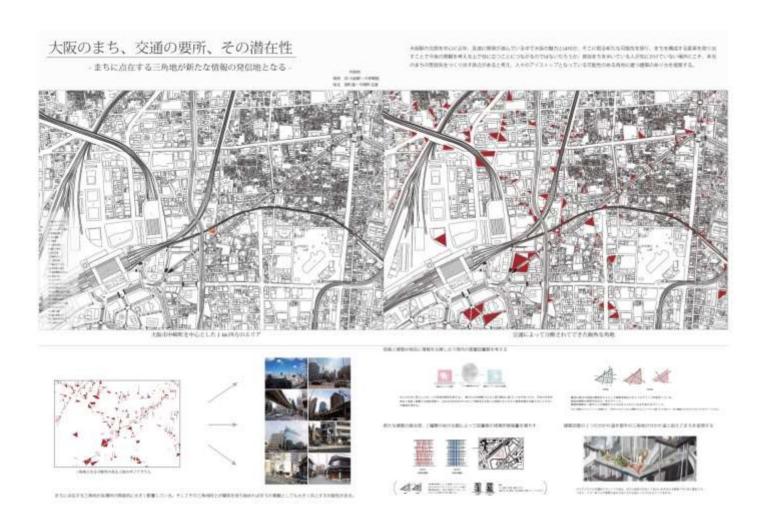
・中部に守り下江田にお田北田出産館の心に ・ことも小様で学である。 ・総の機関略、 ・学校で学ぶことが東京市と取用が与い。 ・機関の開出者い。 ・資助で学術的権格。

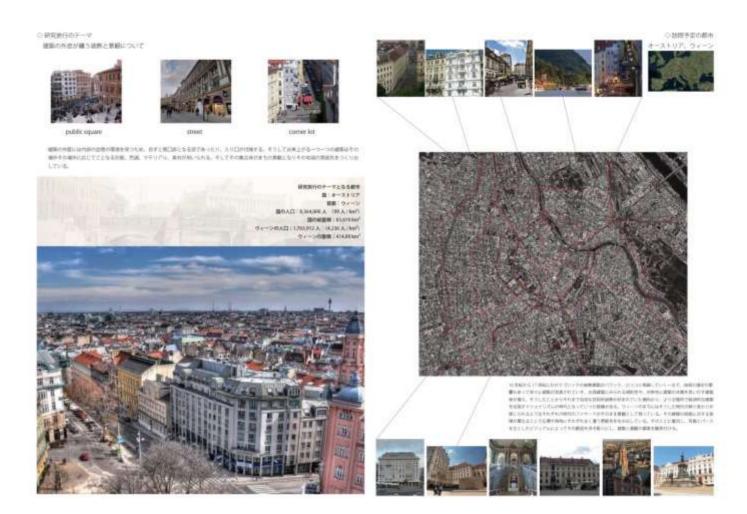
### 卒業設計のタイトルと概要

春を待つ橋の下 -the ploretarian architecture-敷地、浅草隅田公園では華やかな観光客達とホームレス達が同居しています。 ここに貧しさによって人とのつながりを失った人々のためのしかけ「橋」を持つ、簡易宿泊所を計画しました。

### 研究旅行のテーマと訪問予定の国(都市)

私の目標は日本の閉塞感を打開する、楽しい暮らしや明るい未来を建築でつくっていくことです。貧しいけれども幸福な 国と言われているバングラディシュで、人々の暮らしや小学校建築の在り方、作られ方を見て、幸福とは何なのか、感 じ、考えたいです。















### 卒業設計のタイトルと概要

タイトル: 大阪のまち、交通の要所、その潜在性-まちに点在する三角地が新たな情報の発信地となる-まちに溢れる三角形の敷地の存在に着目し、その一角へ有効な建築を建てることで今後の社会がより豊かになる方法 はないかと考え、それを卒業設計の作品としています。大阪市北区の約1.5km四方のエリアの調査を行い敷地の対象と なる街区を選び、そこへ2種類の機能をもつ図書館を設計しています。交通の多様化に伴った三角地と建築の関係性は 日々変化しており、街区が形成される要因となる道路や鉄道は決して直角に交わるとは限りません。必然的に生まれる 鋭角な土地にその斜辺を生かして社会に対して結びつきの生まれる図書館とはどのようなものか。人が使う空間を明快 に外部と深く関わるもの、内部に関係するものとに分け、それぞれの交わり方に互いが関係を持ち合うような空間を考え ました。また、構造体やVoidによって外部と内部の人が自然に存在を感じられる空間を創作することでより、まちに対し て情報を発信する場として成り立つことを可能としています。

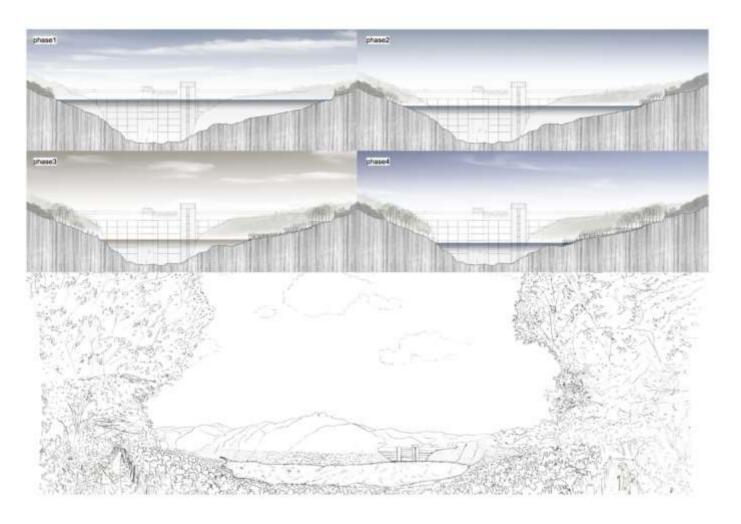
### 研究旅行のテーマと訪問予定の国(都市)

研究旅行のテーマ:建築の外皮が纏う装飾と景観について

技術が急速に発達していく中でできていくであろうこれからの街のあるべき姿を再考するために、古代から始まり、ゴシッ ク、バッロク、ロココといった自由な装飾が施されてできた街並みを実際に体験することでそこに生まれている自然な街 の広場やスカイライン、求心的に広がる都市の街区の関係を知り、今後残されるべきものと変えていくべきものを炙り出

訪問予定の国(都市):オーストリア、ウィーン





「街並みの美学トラベルスカラシップ」

■研究旅行のテーマ

私は年業制作で奉り組み打人の機能の担え方。近り方をテーマとします。学師4年生のとき、東北の重別の養養が大きく製造を無し行きました。 規則が認わらは新には不満の周囲をデーマ1に置いますと思想の場本を考えていました。しかし、機能では発養するかに組入た他間の恐ろしまか ありました。保険は考えて多えられる間でなくなり、無大に関いました。 適利を扱うというというとき、ある制理に乗りまました。 東北では他は他であるというとき、ある制理に乗りまました。 東北では他では他であるとして書かれていた。 主張が思したができまった。 主張が思したができまった。 日本では母されているとは本ではつい機はまでは土産が主席であり、時外的に関いると上草を任何関連というのがいまいた見つかりまけんでした。 それたことに関いてみるとは本ではつい機はまでは土産が主席であり、特別的に関いませた。 最近機能の機能があるといこので変数となっても影響のできる社会になるののかりませた。 最近機能の機能が関連に関いすることができればと考えました。 日本では母されていることができればと考えました。 日本では母されていることができればと考えました。 日本では母されているので変数となっても影響のできる社会によればれるののかりませたるのでは、それでは今日本のような 最近機能の機能が発生されているとというできればと考えました。 日本では母されているとというできればと考えました。 日本では母されているので変数となっても思いても思いました。 最近機能が関連に関いていることができればと考えました。 日本では母されているのではないでは、日本では母されているのではないのからない。 日本では母されているのでは、日本では母されているのではないでは、日本では母されているのでは母されている。 日本では母されているのでは母されているのでは母されているのでは母されている。 日本では中では母されているのでは母がようない。 日本では母されているのでは母もないでは

■訪問予定の建築物 スコーグスシュルコゴーデン









大阪水立大学大学院 加州文裕

般地區間は約1 0 0 ヘクタール 軍地内には大都場)+無、葬墓所礼拝堂5 ヶ所、屋外寄場1 ヶ所、ビジターズセンター、屋名共同墓地、約1 0 万の幕があります。

基地内のビジターズセンター

基地内の礼拝堂







E experience.

基地内约扎样型

基地内の礼拜室内部

基础の様子

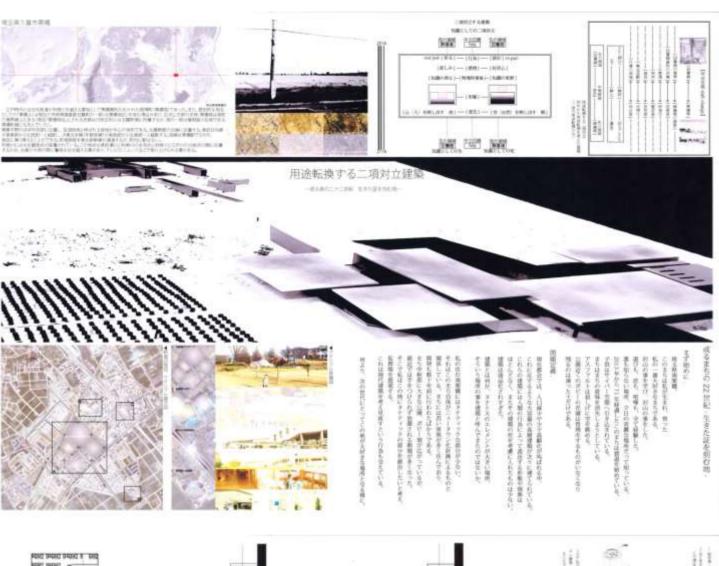
## 卒業設計のタイトルと概要

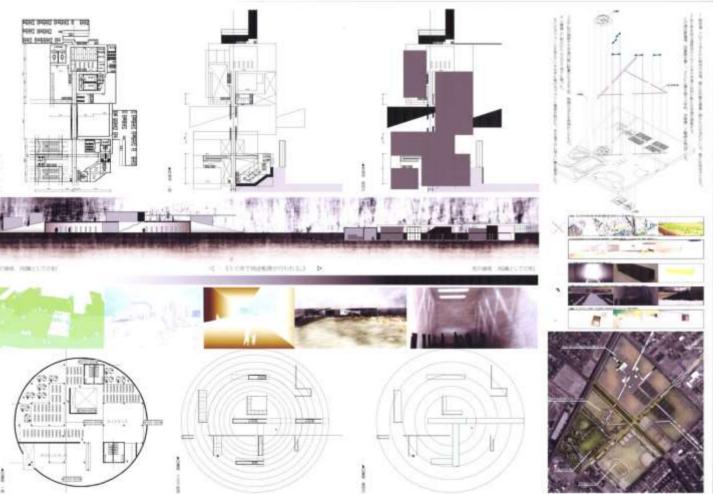
「世界はときどき美しい」

墓標の代わりに故人の好む木を一本植え、土葬する自然埋葬という新しい死の迎え方、送り方の提案。使われなくなったダムを敷地に水を引いていきながら、現れてくる大地に対し、埋葬を行う。墓地へは船を使い、非現実な空間の提案と自然に包まれていく様子を建築とした。

研究旅行のテーマと訪問予定の国(都市)

ストックホルム郊外のスコーグスシュルコゴーデン







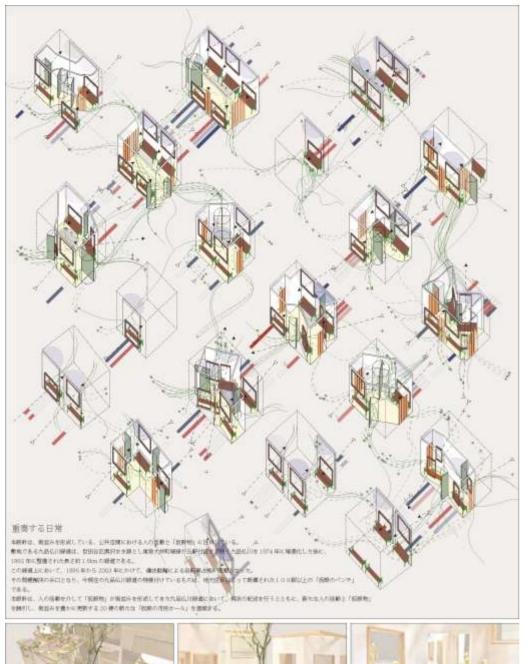
### 卒業設計のタイトルと概要

タイトル:用途転換する二項対立建築 概要:現在都会では、人口減少や少子高齢化が叫ばれる中、これに反するような大容量の高層建築が次々に建てられている。これらの建築には人間の行為によって表出する形態や現象はほとんどなく、またその建築の死を考慮に入れたものは少ない。建築は商品化されすぎた。私の住む南栗橋にはタナティックな部分が少ない。

それはこのまち自体がニュータウン化計画によるものと関係している。まちには若い家族が多く住んでおり、開発も数十年前に行われたばかりである。まち中枢部に大きな公園、ポピー畑が広がっているが、最近では手をつけられず放置される期間が多くなった。そこで私はこの地にタナティックの部分を創出したいと考え、仮葬場を提案する。これは現代建築を考え見直すという行為も交えている。

### 研究旅行のテーマと訪問予定の国(都市)

テーマ:環境におけるコンテクストの変化 訪問予定場所:スウェーデン ストックホルム





(シナでは、多くの人が悪い思いの時間を過ごしてあり、その意動は都 八島の健康のシブライは、からい人のからいる。 市に豊かな質を与え、有望みをつくり出している。 これようにして主み出された場所性を終大之に、自由出丘に不足している市員が無まる。

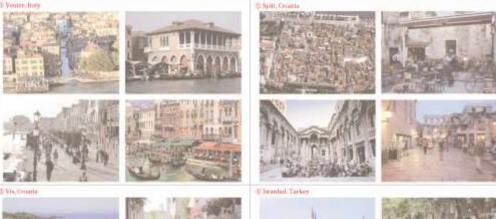
ちのた内部登録を設計する。



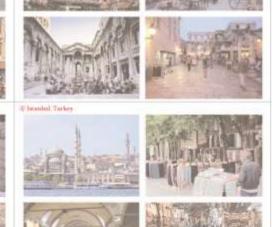
がようい。ア本和国は、押犯も確定人のアのヴェネフェアを実施とした意見上の国家である。 下検別を取らら 1797 年まで 1000 和以上の確に取り、原外上着も悪く 除りた対象である。 「最も高度な知」や 下アドリア権の女王」とも呼ばれる。 連項で強縮所に よって栄えた地域で顕常であった。 と回じょう 開発があったの 供えたいけったが、またが、はないます。 とのもの都市は、水準や高端などの人のアクケッピケッと、他の発品といった小せな 7 的報告」との密語の関係から、セューエン スケールの取扱かが思行られている。 様人は「ジャニテァリスか」使力の中で、評別とボート、内候、チラス、課めた定場の情報が、 人の情報を介して調音な立動をつっており、地上部分も集中自転換の立ち入ることができない。 最かな行う者回数となった。 なった。ことでは、ロール中部の特に関するも自国の合理な、現在でも生活の特殊としており。それら、他の情報が大き付 本部目しており、その結果の影響が立刻である。 現在でも生活の特殊としている。「ないでは最初が、主義・ 無料しており、その結果の影響が立刻である。 のよう、また、「ないでは、一般のとないである。」 は、これによった。「ないでは、「ないで

があり、北洋などを通じた身体的・労働的な効果が見られる。 今時の旅行では、以上の都市の物理のを乱で感じるとりもに、<sup>ロ</sup>ヴィスで行われるシンポジを上及びフーテンセップに参加し、地面 みと人の搭動の旅行について体験的に呼び、物味に開発されるアーバンフェーニティーの流流コンペティションでも参加する。 またログニキチアでは、ゲニキフィアビエンナートにも形式、敷布における信頼性と民族性について考察する。









## 卒業設計のタイトルと概要

### 重奏する日常

本設計は、街並みを形成している、公共空間における人の活動と「仮設物」に注目し

敷地である九品仏川緑道は、世田谷区奥沢を水源とし東急大井町線緑が丘駅付近 まで続く九品仏川を1974年に暗渠化した後に、1992年に整備された長さ約1.5kmの 緑道である。

この緑道上において、1995年から2003年にかけて、違法駐輪による自転車占拠が 問題となった。

その問題解決の糸口となり、今現在の九品仏川緑道の特徴付けているものは、地 元住民によって設置された100脚以上の「仮設のベンチ」である。

本設計は、人の行為・行動を介して「仮設物」が街並みを形成してきた九品仏川緑 道において、現状の記述を行うとともに、新たな人のアクティビティと「仮設物」を誘 引し、街並みを豊かに更新する新たな「仮設の市民ホール」を提案する。

### 研究旅行のテーマと訪問予定の国(都市)

「仮設性」がつくる街並み

訪問都市:ヴェネツィア(イタリア)、スプリット(クロアチア)、ヴィス(クロアチア)、イス タンブール(トルコ)